

♪ 令和2年度早川南小学校だより ♪

はるき



令和3年1月22日

No.32

校長 河西弘明



ありがとうコンサートに向けて…！

今年は、ご承知のようにたくさんの行事ができませんでした。小学校生活の最後の年となる6年生にとっては、思い描いていたものとは違う一年になってしまい、無念の気持ちもきっとあることでしょう。同時に、それは保護者の皆様にとっても、同じ気持ちだと思います。前にも書きましたが、学校行事は、子供たちの成長を促す機会でもあり、思い出となる機会でもあります。

本校が、ずっと大切にしてきた活動、吹奏楽活動は、今年は50周年の年でもありました。一口で50年と言っても、続けることの難しさは推し量ることができます。私がいた30数年前には児童数も多く、4年生以上でも30人以上いました。木管楽器も入った、完全な吹奏楽の形態で演奏していました。その後、児童数の減少により、楽器編成を金管楽器のみとする金管バンドに編成を変えました。でも、脈々と活動を続けてこられた理由は、やはり子どもたちや職員の「伝統を守る」という気持ちがあったからこそでしょう。

コロナ禍の状況ですが、本校ではどうしても行いたい行事があります。それは、恒例となっている2月の「ありがとうコンサート」です。今年は、50年の歴史のちょうど半分、25回目となります。過日ご案内したように、例年に近い形ではありますが、感染症対策を講じながら若干いつもより時間を短縮し、内容を精選して開催したいと思っています。今年は、バンドフェスティバルなどの演奏機会がなかったり、休業もあつたりする中で、十分な練習時間が取れませんでした。でも、6日のコンサートの成功に向けて、子どもたちは目標をもって、一生懸命に練習してきました。卒業していく6年生に感謝の気持ちを、6年生はこれまでの集大成の演奏を、そして最後には全体合奏と全校での合唱奏をお届けし、今年の活動の締めくくりをしたいと思っています。



今年全校で演奏する曲は、きっと保護者の方も聞いたことがあると思いますが、TBSで放映されているドキュメンタリー番組「情熱大陸」のテーマ曲、葉加瀬太郎さんの「情熱大陸」です。この番組は、1998年4月から放映が開始され、これまで22年間、先週の放送が1137回目という長寿番組です。今年の運動会の高学年組み立て演技の中で使用された「エトピリカ」とセットで、局から依頼されて葉加瀬さんが作曲した曲です。耳なじみの曲ですが、子どもたちにとっても、きっと生涯、心の中で奏でられる音楽になると思います。アップテンポで16ビートのドラムに乗って、生き生きとした演奏になるよう練習中です。

そして付け加えさせていただきたいのですが、子どもたちはもちろん頑張っているのですが、実は先生方もとても頑張っています。早川南小学校に勤めた宿命として、先生方も楽器を演奏するわけですが、経験者ならいざ知らず、ほとんどの先生方は初めての楽器演奏です。4月から、子どもたちと一緒に、忙しい合間をぬって練習にいそんできてくれていますが、先週・今週あたりからは、週末に楽器を持ち帰って吹く人が何人もいたり、夜なのに寒い体育館からメロディが聞こえてきたり、楽譜片手に校長室に来て「ここはどういう風に吹けばいいですか？」と熱心に聞いてきたりと、目の色が変わってきています。本当に、ご苦労もかけていますが、嬉しい限りでもあります。

これ以上、コロナの状況が悪くならないように祈りながら、本番に向けて曲を仕上げたいと思っています。なお、当日は、以前お伝えしました「Airバンフェス」の収録があり、UTYのテレビカメラが入ります。ご承知おきいただければ、と思います。

